

サーファアの感性をカタチにした
憧れの平屋ライフ

カバードポーチを配した白壁のシンブルな平屋とカーポートに停められた大型のダッジバン。それだけ見るとまるでハワイあたりにある住宅街をイメージさせる佇まいだが、これは千葉県某市の住宅街にある吉尾邸。サーフィンを通じて知り合ったご夫婦は、サーフムービーなどで見かけるアメリカンな平屋住まいを夢見る日々。そんな時、幸運にも手頃な土地を手に入れることになったので、早速理想の平屋をオーダーすべく大手住宅メーカーへ相談。しかし、サーファア独特のナチュラルな感性が伝わらず、話が進まない。理想の平屋探しをしながらネットサーフィンしていたときに、たまたまヒットしたのが、注文住宅やリノベーションを扱う神奈川のハグホーム。早速打合せのため事務所へ訪れた吉尾夫妻が見たのは、スケートランプが併設された横乗り系に刺さるオシャレな事務所。そう、ハグホームの高津代表もサーフ&スケートをこよなく愛する横乗りメン。「彼に頼まずして誰に頼むのか?」と、吉尾夫妻は初めましての挨拶代わりに「お願いします」と言ったのはホントの話。

まずオーダーしたのはカーポートへアクセスしやすい玄関回りのレイアウト。ポイントは玄関とリンクする土間スペース。ここにサーフギアなどを収納しており、クルマへの積み込みも楽々。サーファアにとってはおしゃれな限りだ。アクセスの良さと言えば、リビングから繋がるカバードポーチにも注目。温かみのあるウッド仕上げで、

2階建ての戸建が立ち並ぶ閑静な住宅街に佇む吉尾邸。平屋なので、ことさら空を広く感じる空間だ。白壁は100%自然素材のシラス(マグマが岩石になる前の粉末)を使用した「そとん壁」とし、ナチュラルテイストを投入。断熱効果にもすぐれた壁材だ。



Case.

3

吉尾 純さんの場合

「平家のサーファーズハウス」

★“好き”に囲まれる★
趣味を満喫する家

趣味のサーフィンで出会ったご夫婦が
サーフィンライフをテーマに建てたお宅がコチラ。
使い勝手の良さはもちろん、
自然の温かみを感じることもポイント。
目指したのは、都会なのに自然を感じる
アメリカンテイストあふれる平屋暮らしだ。

文・写真/ノグチケイスケ

子供の遊び場としてはもちろん、ハンモックを広げてチルアウトスペースとしても大活躍。太陽を浴びながら家族全員が楽しめる大事な空間ってワケ。サーフィンをキーワードに建てられたこの家は、ふとした時に自然の温かみを感じられるパースが随所に盛り込まれているのも見どころだ。



DODGE RAM VAN

吉尾さんの愛車は'98年型ダッジ・ラムバンショートだ。コイツでラムバンは2台目と、根っからのアメ車好き。ノーマルをラフに使うのが吉尾流。週末になると関東近辺のサーフスポットへ向かう。サーフィンライフの欠かせない相棒だ。

肩肘張らないラフなスタイル♪



車中泊もできるようにとベッドキットをDIYでメイク。ベッド下にサーフギアを積んでもスッキリとしたラゲージ空間を確保するのがご自慢。家族4人でサーフィンやスノーボードに行くときも、荷物をたっぷり積めるので重宝しているとか。



陽の光と笑顔あふれる
自慢のカバードポーチ

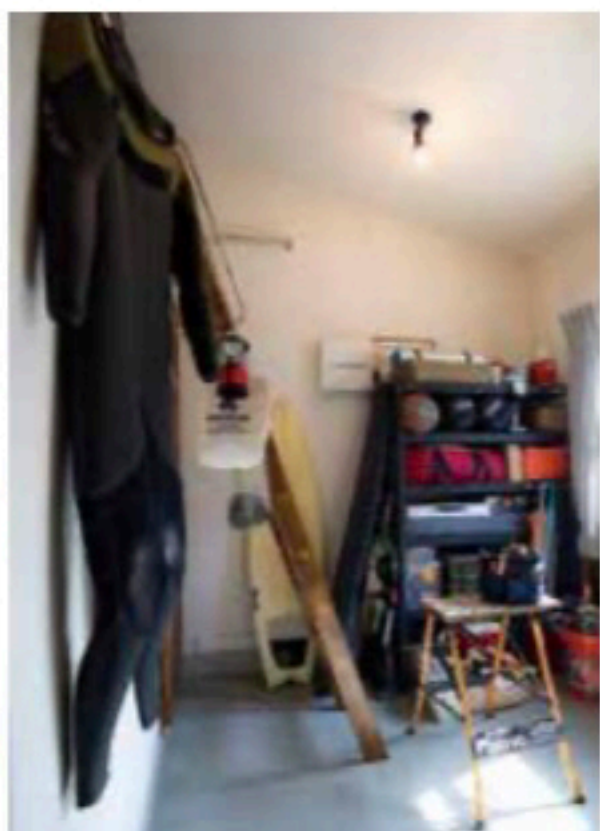
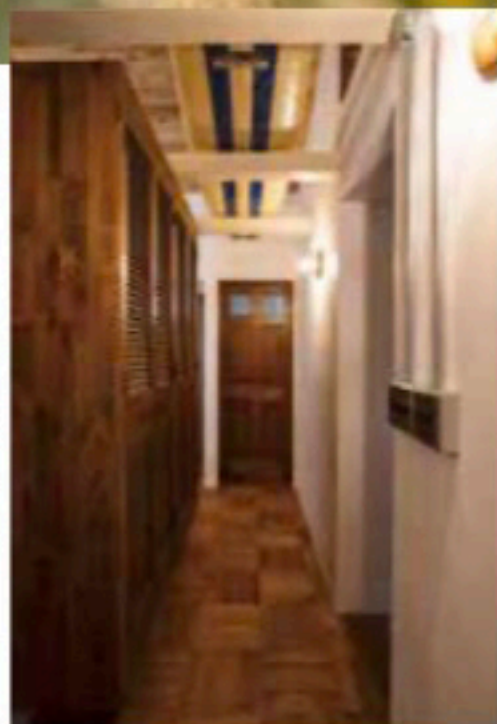


カバードポーチの端に備えられた扉から、ランドリールームへ直接アクセスできる。外で思いっきり遊んで汚れた服などを部屋に通さず洗濯機へ放り込めるのがナイス！ 雨の日でもここで洗濯物を干せちゃいマス。

リビングと繋がるウッド張りのカバードポーチは約11帖。サーフボードのメンテナンスや、子どもたちの遊び場、外でのBBQなど、使い勝手はバツグン！ 吉尾ファミリーにとって大切な団場の場だ。柱にハンモックをセットできるようになっているので、庭を眺めながらのお昼寝タイムにもバッチリだ！



↑玄関脇に設置されたアイアンネット×ウッド棚もオシャレでイイ感じ。→リビングのTVがセットされている壁の裏側は収納スペースとなっており、玄関から寝室への廊下となる。高い天井にはロングボードをさりげなく収納。



玄関サイドには、土足のままアクセスできる4.5帖の土間スペースが。ここにサーフボードやアウトドアギアを収納しており、玄関からの出し入れも楽々。ちょっとしたDIY作業もできるうらやましい空間だ。さらに屋根裏部屋にも繋がっており、秘密基地スタイルが遊び心をくすぐりマス。

日本建築の良さもミックス！



23帖の開放的なリビングダイニングキッチンルームも吉尾部のご自慢ポイント。フロアはオーク&パイン無垢材を使用し、天井はレッドシダー張り。採光窓も備える。白壁は漆喰塗りを採用し、冬暖かく夏涼しい室内を実現する。日本建築の良さを取り入れたハグホームのこだわりが光る。